

平成19年度 事務事業評価表		担当	建設部 土木課				内線等	2264
事務事業名	道路補修事業					事業コード	4. 維持管理事業	
根拠法令等	道路法					A法令		

総合計画での位置付け

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
------	--------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	市道全般に対して
手 段	道路の破損箇所を補修することにより
想定する成果	道路の通行の安全を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
総事業費	37,430千円		37,743千円		38,000千円	
道路維持補修工事	424箇所	36,177千円	438箇所	36,906千円	-	36,200千円
橋梁改修工事	1橋	1,253千円	1橋	837千円	2橋	1,800千円

成果指標

成果指標名	実施率
成果指標の説明	実施件数 / 要望件数 × 100

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		100%				100%				100%			
成果指標													
事業費	事業費	37,430				37,743				38,000			
	人件費	12,572				9,490				9,806			
	(人数)	正規	1.6	非常勤	0.05	正規	1.2	非常勤	0.05	正規	1.25	非常勤	
	合計	50,002				47,233				47,806			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	50,002				47,233				47,806			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	市民の要望に対して100%実施している事業である
経済効率性	2	2	2	2	投入された予算に対してほぼ見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	3	3	投入された人員に十分見合った成果をあげている。
必要性	3	3	3	3	市が実施すべき事業である。
小計	11	11	11	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	総合計画「施策」の達成に非常に効果がある
合計	14	11	14	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	道路の維持管理事業なので、なくてはならない事業である。
------	---	---	---	---	-----------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
道路補修工事の地区割りを担当職員の人数にあわせて行い事務の効率を向上させる。
上記改善点の実施状況
地区割りを大きくすれば担当職員の負担は軽減されるが、受注業者の負担が多くなり業者の理解が得られなかったため、当分の間はこのままでいく。

今後さらに改善すべき点

平成21年度予算に反映する項目

維持管理事業であり、予算は現状維持以上が必要である。

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

